

小児がん支援事業について

1 事業目的

小児がんは診断後、長期にわたって日常生活や就学・就労に支障をきたすこともあり、患者の教育や自立、患者を支える家族に向けた長期的な支援や配慮が必要である。

小児がん患者とその家族が安心して、適切な医療や支援を受けられる環境整備を目的とし、事業を実施する。

2 事業内容

(1) 小児がん患者とその家族向け情報提供冊子の作成（予算：26万円）

①提供対象

〈平成26年度第2回部会での御意見〉

- ・情報は必要な時に必要なものだけを見る。場面に合わせたものが良い。

↓

お子さんが小児がんと診断されて直ぐの親御さんを対象とする。

②掲載内容

〈平成26年度第2回部会での御意見〉

- ・今かかっている病院の情報
- ・経済的なこと、助成制度、助成金
- ・病院の療養環境情報
- ・治療に関する大まかなこと
- ・治療はリスクを伴うこと
- ・小児がんは慢性疾患だと伝えられるもの
- ・悔しいが一生つきまとう問題があること
- ・不確実な情報を入手してほしくない、正しい情報への誘導
- ・情報の選択ができる
- ・千葉県の情報が提供されるもの
- ・QRコードの活用

↓

冊子（骨子案） 資料2-2

③今後の作業について

- ・部会委員で分担し、各ページの修正、原稿の作成をお願いしたい。（9月上旬頃を目安に事務局へ提出。）
- ・事務局で原稿を集約し、冊子（案）を作成後、再度ご意見をいただきたい。

(2) 平成 28 年度以降実施を目指すピアサポート相談事業

〈平成 26 年度第 2 回部会での御意見〉

- ・小児がんのお子さんを持ったお母さんが適任者だと考える。事業を続けて行く上で、人材の確保が一番重要で難しいところ。
- ・ボランティアで人材を確保するのは困難。
- ・費用、人員、場所等も含めた検討が必要。
- ・看護師の理解を得ることが事業化する上で重要。
- ・定期的な集まりが開けると良いのではないかな。
- ・付添いで外に出られない親のための茶話会や出張相談会が出来ると良いのではないかな。
- ・開催場所が設けられるかどうか。
- ・小児がんでひとくくりにするのは難しい。
- ・同じような治療や経過をする近縁疾患でなければ、親御さんは集まらない。

↓

事務局（案）

平成 28 年度

人材育成・人材発掘のための研修会の開催及びサロン(茶話会)の開催

3 事業スケジュール

	情報提供冊子の作成	ピアサポート相談
H27 年度	<p>[第 1 回部会] H27. 7. 24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供冊子事務局(案)の提示 原稿作成・修正・集約 <p>↓</p> <p>[第 2 回部会] H28. 1 開催予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供冊子修正案の提示印刷 <p>H28. 3 月末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供冊子発行、配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業として実施を目指すための具体的方法、課題の検討 <p>⋮ 予算要求作業 ⋮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に必要な課題解決のための方法の検討
H28 年度以降	<p>冊子による情報提供</p> <p>↓</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始準備 <p>H28 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成・人材発掘のための研修会の開催 ○サロン(茶話会)の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・相談事業の開始